



肥後六花

「肥後六花」は、肥後藩の財政立て直しなど「宝暦の改革」を行った第6代藩主・細川重賢(しげかた、1720~1785)により置かれた蕃滋園(ばんじえん、藩の薬草園)での植栽が起源と言われ、以後、武士のたしなみとして栽培が奨励されました。肥後菊、肥後椿、肥後山茶花(さざんか)、肥後花菖蒲、肥後朝顔、肥後芍薬(しゃくやく)が織りなす四季折々の風情は、熊本城竹の丸肥後名花園で見ることが出来ます。



くまもとの夢4カ年戦略 進捗レポート 2009



国宝 青井阿蘇神社

平成20年6月、「青井阿蘇神社」(人吉市)が、県内に現存するものとしては初めて国宝に指定されました。初代人吉藩主・相良長毎(さがらながつね、1574~1636)の命により、慶長15年(1610年)から4カ年をかけて造営されたものです。中世人吉球磨地方に展開した独自性の強い意匠を継承しつつ、桃山時代の豪華な装飾性を機敏に取り入れた彫刻や彩色などから、当時の豊かさや繁栄がうかがえます。

発行：平成21年12月
発行者：熊本県(総合政策局 企画調整課)
〒862-8570(県庁専用郵便番号) 熊本市水前寺6丁目18番1号
TEL.096-333-2020 FAX.096-382-4066
E-mail kikaku@pref.kumamoto.lg.jp
熊本県オフィシャルホームページ <http://www.pref.kumamoto.jp/>

21 総政 企調
② 001

再生紙を使用しています



平成21年12月
熊本県



熊本県では、平成20年12月、県政運営の基本方針である「くまもとの夢4力年戦略」を策定し、「くまもとの夢」の実現に向け、全力で取り組んでいます。戦略の推進にあたっては、県民の皆様と夢を共有し、これからの熊本を一緒に築いていきたいと考えています。

このレポートは、戦略の進捗状況をお伝えするため作成しました。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

熊本県知事 蒲島郁夫

くまもとの夢4力年戦略とは

- ・ 県政運営の基本方針
- ・ 施策展開の方向性を示したもの
- ・ 計画期間は平成24年3月までの4年間
- ・ 知事のマニフェストを基本に策定

くまもとの夢：「生まれてよかった、住んでよかった、これからもずっと住み続けたい熊本」の実現

特徴

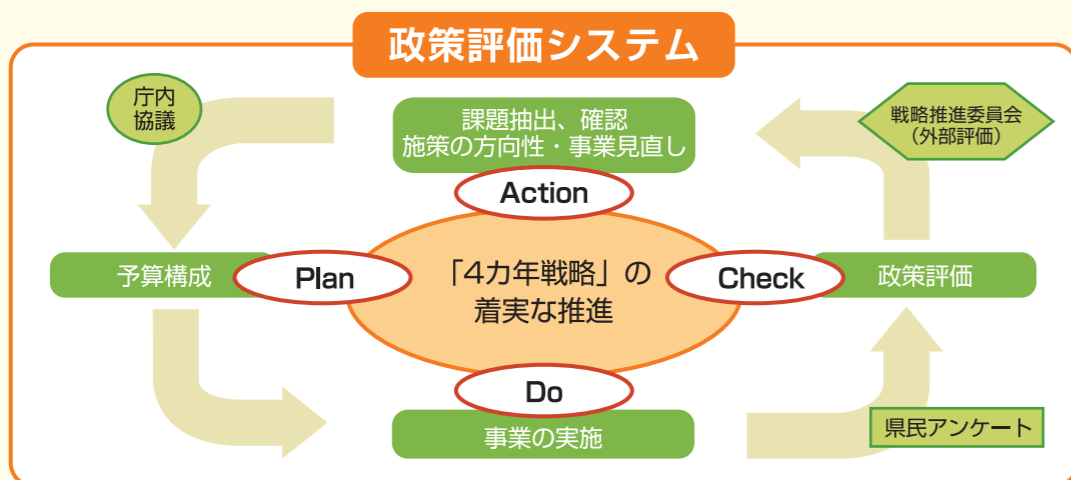
- ・ 4つの分野、12の戦略で構成
- ・ 12の戦略それぞれに目標を掲げ、県民に身近な指標を設定
- ・ 「主な施策」や「重点的に取り組む施策」等を明記

主な施策：各戦略の目標の達成に向けて取り組む施策
重点的に取り組む施策：厳しい財政事情にあっても、戦略目標の達成に向けて、この4年間で着実に成果をあげたい施策

●詳しくはホームページをご覧ください。[くまもとの夢4力年戦略](#) [検索](#)

戦略の着実な推進に向けて

- ・ 情報公開を徹底し、県民総参加による県政運営を推進
- ・ 県民、市町村、企業、大学、各種団体、NPO等と連携・協働し、多様な主体の活力やノウハウ等を活用
- ・ 政策評価システムによる成果重視の県政運営を実施
- ・ 政策評価にあたっては、県民に身近な指標を使い、戦略の進捗状況を分かりやすく説明



くまもとの夢4力年戦略

くまもとの夢

「生まれてよかった、住んでよかった、これからもずっと住み続けたい熊本」の実現

県民幸福量の最大化

くまもとの夢の実現に向けた取組み (4つの分野)

経済上昇くまもと(経済)

- 目標
- 農林漁業者の安定した所得を確保します。
 - リーディング産業の更なる集積と中小企業の振興により、地域経済を活性化させ、雇用の場を確保・充実します。
 - 県内の観光宿泊客数を増やします。

長寿安心くまもと(暮らし)

- 目標
- 健やかで、多様な生き方を選べる県民を増やします。
 - 保健、医療、福祉サービスを必要ときに受けられる体制を整備します。
 - 様々な暮らしの場面での安全を確保します。

品格あるくまもと(誇り)

- 目標
- 誇れる地域の魅力をつくります。
 - 県民総ぐるみで世界に誇れる環境立県くまもとをめざします。
 - 九州新幹線全線開業効果の最大化を図ります。

人が輝くくまもと(人)

- 目標
- 健やかに育つ子どもを増やします。
 - 子どもたちの確かな学力と健やかな心身をはぐくみます。
 - 働く人、働きたい人を応援します。

12の戦略

農林水産業
魅力的で、豊かな基盤を持ち、世界に飛躍する農林水産業

商工業
活力があり、雇用を創出する商工業

観光
「記憶に残る観光地」歴史回廊くまもと

健康・社会参画
県民一人ひとりが人権を尊重され、健やかに生き甲斐を持って力を発揮できる社会

医療・福祉
住み慣れた地域で安心して暮らすことができる社会

安全安心
安全安心で住みやすい社会

地域づくり
誇りに満ちた魅力あふれる地域社会の創造

環境
低炭素、循環及び共生を基調とした持続可能な社会

新幹線・基盤
九州新幹線全線開業効果の最大化による県全体の発展

子育て
子どもの笑顔があふれる社会

教育
子どもたちの「夢への架け橋」となる教育

就労
働くことを通して自己実現できる社会

喫緊の課題への対応

行財政改革 川辺川ダム問題 水俣病問題

政令指定都市誕生に向けた取組み

経済上昇くまもと

戦略1 魅力的で、豊かな基盤を持ち、世界に飛躍する農林水産業

戦略目標 農林漁業者の安定した所得を確保します。

【主な施策】

- 個性・こだわりの農産品づくり
- 林業生産性の向上
- 付加価値の高い養殖技術の確立
- 農商工連携による新商品開発支援
- ★ 県産品の認知度向上と販売チャネルの拡大
出荷箱等への「くまもと」ロゴ表示/
サポーターや誘友大使の口コミ推進、知事のトップセールス
- 多様な担い手の確保
- ★ 7 担い手の育成
認定農業者・地域営農組織・林業事業者・漁業者・農業参入企業への研修会や説明会の実施等
- ★ 8 耕作放棄地及び休耕田の有効利用促進
耕作者の確保／飼料作物や非主食用米、露地野菜等新たな作物の選定や導入等
- 農地の有効利用
- 農地と漁場の保全
- 11 安定的・持続的生産のための基礎的支援
- 12 農林水産業への消費者の理解と共感の醸成



戦略2 活力があり、雇用を創出する商工業

戦略目標 リーディング産業の更なる集積と中小企業の振興により、地域経済を活性化させ、雇用の場を確保・充実します。

【主な施策】

- ★ 1 戦略的企業誘致の推進
知事のトップセールス、戦略的な企業誘致活動／既存工業団地の分譲促進
- 産業振興3構想と4戦略の推進
- 産学行政連携等による新事業の創出
- 企業ニーズに対応した人材の育成
- 産業を支える物流基盤の整備
- ★ 6 中小企業の技術・経営・販路開拓の支援
頑張る中小企業が取り組む経営革新支援／農商工連携等による新商品開発や販路開拓支援
- 商業・商店街活性化への支援
- 働きやすい環境づくりへの支援
- 金融支援の円滑化
- 10 雇用対策の推進(地域格差の是正)



戦略3 「記憶に残る観光地」歴史回廊くまもと

戦略目標 県内の観光宿泊客数を増やします。

【主な施策】

- ★ 1 歴史回廊くまもと観光立県の推進
魅力ある観光地の形成/
もてなしの向上／情報発信の強化



★は重点的に取り組む施策

長寿安心くまもと

戦略1 県民一人ひとりが人権を尊重され、健やかに生き甲斐を持って力を発揮できる社会

戦略目標 健やかで、多様な生き方を選択できる県民を増やします。

【主な施策】

- ★ 1 健康増進・長寿づくりの推進
健康づくりの支援／特定健康診査・特定保健指導の体制整備等
- 介護予防の取組み
- 県民の人権意識の高揚
- 高齢者や障がい者等の社会活動への支援
- ★ 5 男女共同参画の推進
ワーク・ライフ・バランスの取組促進/
男女平等を推進する教育/
DVの未然防止教育・被害者支援
- ユニバーサルデザインの推進
- やさしいまちづくり
- 8 生涯学習・生涯スポーツ社会の形成



戦略2 住み慣れた地域で安心して暮らすことができる社会

戦略目標 保健、医療、福祉サービスを必要ときに受けられる体制を整備します。

【主な施策】

- 1 保健・医療・福祉の連携による推進
- 2 地域福祉施策の推進
- ★ 3 地域医療体制の整備
地域医療におけるがん・脳卒中对策、小児医療、周産期医療、救急医療への対応／医師確保対策
- ★ 4 要介護高齢者への支援
福祉介護サービスの供給体制の充実／地域全体で要介護高齢者を支える仕組みづくり
- ★ 5 障がい者の地域生活支援
日中活動系サービス等の充実／障がいの早期発見による支援／心の健康づくり
- 6 生活困窮者等に対する取組み

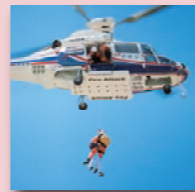


戦略3 安全安心で住みやすい社会

戦略目標 様々な暮らしの場面での安全を確保します。

【主な施策】

- 1 食の安全安心の確保、食育の推進
- ★ 2 消費生活行政の推進
消費者被害防止等のための相談体制の充実等／危害・危険情報の提供／地域見守りネットワークの構築等
- ★ 3 犯罪抑止総合対策
制服警察官等による街頭活動の強化/
防犯ボランティア団体等の育成支援等
- 4 犯罪の徹底検挙
- 5 犯罪被害者等支援の推進
- 6 総合的な交通安全対策の推進
- 7 危機管理体制の整備
(健康危機、テロ、大規模災害対策)
- ★ 8 防災対策の推進
防災体制の強化／自主防災組織の結成・活動促進／河川改修／土砂災害防止施設等整備／消防力の充実強化



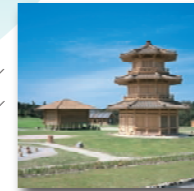
品格あるくまもと

戦略1 誇りに満ちた魅力あふれる地域社会の創造

戦略目標 誇れる地域の魅力をつくります。

【主な施策】

- ★ 1 くまもと文化の創造と継承、発信
鞠智城の国営公園化/
阿蘇天草等の世界文化遺産への登録/
青井阿蘇神社等の県内文化財の活用/
アートポリスの推進等
- 2 まち並、沿道等の景観形成の推進
- 3 多様な主体による地域振興
- 4 農林水産資源を生かした交流・定住促進対策の推進
- 5 ロアソン熊本の支援などスポーツ文化の振興



戦略2 低炭素、循環及び共生を基調とした持続可能な社会

戦略目標 県民総ぐるみで世界に誇れる環境立県くまもとをめざします。

【主な施策】

- ★ 1 県民総ぐるみによる地球温暖化対策とエコ活動の推進
温室効果ガスの削減対策／新エネルギーの導入促進／森林の整備・保全／県民運動による環境保全活動／環境教育・学習の提供
- 2 3R、廃棄物の適正処理、公共関与による管理型最終処分場の整備の推進
- 3 バイオマス利活用の推進、新エネルギー対策
- ★ 4 健全な水循環と水環境の保全
水質保全対策／水道事業の普及/
水環境教育等の推進/
水資源の多面的な活用
- 5 有明海・八代海の再生の推進
- 6 自然と共生した環境づくり
- 7 快適な生活環境の保全対策の推進

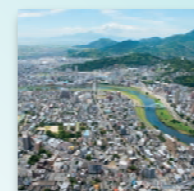


戦略3 九州新幹線全線開業効果の最大化による県全体の発展

戦略目標 九州新幹線全線開業効果の最大化を図ります。

【主な施策】

- 1 政令指定都市実現への取組み
- ★ 2 熊本駅周辺の整備
駅周辺のアクセス道路等の基盤整備／在来線駅舎や散策路の整備
- 3 都市圏公共交通ネットワークの強化
- ★ 4 新幹線元年戦略の推進
開業記念イベント／KANSAI戦略の展開／横軸交通アクセス改善
- ★ 5 幹線道路ネットワークの整備
九州横断自動車道延岡線／中九州横断道路／国道57号拡幅／熊本天草幹線道路／南九州西回り自動車道
- 6 地域の交通基盤の整備
- 7 快適な生活基盤の整備



人が輝くくまもと

戦略1 子どもの笑顔があふれる社会

戦略目標 健やかに育つ子どもを増やします。

【主な施策】

- ★ 1 子育てへの多様な支援
子育て支援サービスの充実/
子育て支援ネットワークの拡大/
「肥後っ子の日」の普及啓発
- 2 子どもひとり親家庭への福祉施策の推進
- 3 総合的な青少年対策の推進



戦略2 子どもたちの「夢の架け橋」となる教育

戦略目標 子どもたちの確かな学力と健やかな心身をはぐくみます。

【主な施策】

- ★ 1 確かな学力の向上
徹底指導と能動型学習のめりはりを付けた熊本型授業の展開/
教育格差を解消するためのシステムづくり
- 2 特別支援教育の推進
- ★ 3 豊かな心をはぐくむ教育の充実
いじめのない楽しく登校できる学校づくり/
くまもと家庭教育10か条の周知/
命を大切に教育等
- 4 社会の変化に対応した教育の推進
- 5 児童生徒の健康づくり・体力づくり
- 6 県立高校の教育環境の整備
- 7 私学振興の推進
- 8 必要な教育環境の整備
- 9 教職員の資質向上
- 10 地域と家庭と学校が一体となった教育力の向上



戦略3 働くことを通して自己実現できる社会

戦略目標 働く人、働きたい人を応援します。

【主な施策】

- ★ 1 若年者の就労支援
ジョブカフェ等を活用した若者の就労支援/
企業と連携した「キャリア教育応援団」/
高校在学中のインターンシップ等就業体験活動
- 2 女性・高齢者・障がい者等の就労支援



経済上昇くまもと

指標の動向

区分	指標	戦略策定時	H20年度のデータ及びその傾向		目標値 (H23年度)
戦略1	農林水産業の生産額	3,517億円/年 (H18:農2,984,林145,水388)	3,596億円/年 (H19:農3,046,林155,水395)	...	3,800億円/年 (農3,240,林170,水390)
	県内食料自給率 (生産額自給率)	152% (H17)	147% (H18)	...	167%
	認定農業者数	11,266経営体 (H19)	11,393経営体 (H20)	▲	11,000経営体 以上
	耕作放棄地・休耕田の解消による作付増加面積	0ha	106ha (H20)	▲	1,800ha
	県産農林水産物輸出額	27.7億円/年 (H18:農0.8,林0.03,水26.9)	21.4億円/年 (H20:農1.5,林1.2,水18.7)	▼	43億円/年 (農1,林1,水41)
戦略2	企業誘致件数	114/4年 (H16~H19)	18件 (H20)	▲	100件/4年間
	製造品出荷額	2.8兆円/年 (H18)	2.9兆円/年 (H19)	...	4兆円/年
	新規雇用者数	5,371人/4年 (H16~H19)	3,913人/年 (H20)	▲	1万人/4年間
戦略3	観光宿泊客数	691万人/年 (H19)	680万人/年 (H20)	▼	750万人/年
	外国人宿泊客数	40万人/年 (H19)	36万人/年 (H20)	▼	55万人/年

(注)「…」はH19年度以前のデータが最新のため矢印の記載無し

トピックス(平成21年度)

耕作放棄地の活用と米粉の普及促進

耕作放棄地を有効に活用するため、子どもたちによるモデル事業を実施し、農業体験学習を通じた農業理解と食育に取り組みました。

また、9月から小中学校の給食で県産米粉パンの提供を開始し、11月には、くまもと米粉応援キャラクター「米咲かじいさん」を決定するなど、米粉の普及促進に力を入れています。



米咲かじいさん



「夢挑戦プラザ県北」開所式



「夢挑戦プラザ県北・県南」の開設(5月)

県北地域と県南地域における創業や地域内企業をサポートするため、菊池市、八代市においてインキュベーション施設を開設しました。

くまもと最高ザンス観光キャンペーンの実施(10~3月)

スザンヌ宣伝部長をキャンペーンキャラクターとして、JR九州と全面的にタイアップした観光キャンペーンを実施し、本県の魅力を広くアピールしています。



取組みの成果(平成20年度)

【戦略1】魅力的で、豊かな基盤を持ち、世界に飛躍する農林水産業

【県産品の認知度向上と販売チャネルの拡大】

- ・知事のトップセールスや宣伝部長スザンヌさんによるマスメディアを活用した県産品のPR・フェアを開催しました。
- ・量販店等と県内産地のコーディネートを行い、県産品の流通拡大を図り新たに大型量販店での取扱いを開始しました。
- ・大型製材施設の整備・導入支援により、県産高品質製材品を生産し、約14,000㎡を県外へ出荷しました。

【担い手の育成】

- ・認定農業者や法人が経営支援や研修会等により増加しました。

【耕作放棄地及び休耕田の有効利用促進】

- ・国に先駆けて県単独事業を創設し、106.4haの耕作放棄地を解消できました。



香港におけるブランドイチゴ「ひのしずく」の知事トップセールス

【戦略2】活力があり、雇用を創出する商工業

【戦略的企業誘致の推進】

- ・知事トップセールスによる誘致活動や都市圏での産業トップセミナー等を開催し、18社を誘致しました。
- ・新規工業団地(菊池テクノパーク)整備に向けた調査を開始しました。また、県南地域市町村が行う工業団地整備調査を支援しました。

【中小企業の技術力や経営力の強化、新商品開発や販路開拓等の支援】

- ・中小企業の技術支援拠点となる産業技術センターに新たな実験棟と研究備品9機種を整備しました。
- ・32件の新商品・新技術開発や販路開拓を支援し、うち2件は全国展開する見込みです。
- ・(財)くまもとテクノ産業財団事業を通じた下請振興対策で33件の契約が成立しました。ベンチャーマーケット二火会(投資家、取引先との出会いの場)で21件の商談が成立しました。
- ・企業が求める産業人材を育成する「産業人材強化戦略」を策定しました。
- ・県産品の販路拡大を目指し、大手量販店との連携をすすめ、国内及び東アジアでの商談会を開催しました。



熊本県産業技術センター(完成予想図)

【戦略3】「記憶に残る観光地」歴史回廊くまもと

【歴史と文化の薫り高い観光地熊本を形成する戦略】

- ・観光情報を発信する観光キャンペーンを夏と秋冬春の2期に分けて展開するなど、「歴史回廊くまもと」を県内外へPRしました。

【訪ねてよし、住んでよしの熊本おもてなし戦略】

- ・観光産業従事者等へのおもてなし講座(県内11地域、約900人)や、旅館、ホテル等の女将で構成される「女将の会(会員75人)」の発足を支援し、受入れ体制を強化しました。

【発信力を強化し国内外から熊本に人を招く戦略】

- ・観光キャンペーンにより、関西以西や都市圏の人々に様々なメディアを通じて情報を発信しました。また、観光物産展等の開催により、各地で熊本PRを行いました。
- ・海外については、韓国での知事トップセールスをはじめ、東アジアを中心にプロモーション活動を展開するとともに、現地旅行代理店等の招待事業を実施しました。



女将の会によるおもてなし(阿蘇くまもと空港)

長寿安心くまもと

指標の動向

区分	指標	戦略策定時	H20年度のデータ及びその傾向	目標値 (H23年度)
戦略1	日頃から健康のための取組みを実施している県民の割合	34.9% (H19)	31.3% (H21)	40%
	県職員(知事部局)における係長級以上の職員に占める女性の割合	13.3% (H20)	14.3% (H21)	20.6%
	民間企業における管理職(係長以上)に占める女性の割合	17.7% (H19)	19.9% (H20)	20%
戦略2	地域の縁がわ整備個所数	106個所 (H19)	181個所 (H20)	500個所
	認知症サポーター数	5,586人 (H19)	23,384人 (H20)	18,000人 [50,000人] (注)
	県内の自治体病院における常勤医師数	294人 (H20)	299人 (H21)	324人
	障がい者の日中活動系サービスの利用量	6,196人/日 (H19)	7,063人/日 (H20)	6,887人/日 [7,759人/日] (注)
	生活保護就労支援プログラム参加者数・達成者率	参加者数350人・達成者率18.9% (H20見込)	参加者数951人・達成者率20.8% (H20実績)	参加者数500人 達成者率23.6%
戦略3	食品に対してとても不安を感じる県民の割合	15.4% (H19)	7.6% (H21)	10%未満
	消費生活相談・多重債務相談窓口整備市町村の割合	27.1% (H19)	57.4% (H20)	100%
	刑法犯認知件数	19,553件/年 (H19)	17,429件/年 (H20)	18,000件/年以下
	自主防災組織率	44.0% (H19)	47.9% (H20)	70.7%
	関係市町村のハザードマップ作成率	40% (H19)	58% (H20)	100%

(注) []内の数値は、目標達成により新たに設けた目標値

トピックス(平成21年度)

ねんりんピック2011熊本 広報宣伝キャラバン隊出発式(10月)

平成23年10月開催予定の第24回全国健康福祉祭くまもと大会「ねんりんピック2011熊本」の広報宣伝キャラバン隊(隊長:ASO坊健太くん)を結成し、出発式を行いました。



ASO坊健太くん



認知症啓発キャンペーンなど

「熊本モデル」と評価されている認知症疾患医療センターを7月に設置し、認知症に関する医療体制を強化しました。併せて、認知症コールセンター(認知症ほっとコール)を設置して相談体制も充実しました。

10月には、認知症を正しく知ってもらい、認知症の人とその家族を地域のみんなで支えるキャンペーンを実施しました。

八代市、人吉市における消費生活センターの開設(7、8月)

住民に身近な消費生活相談窓口として、「八代市消費生活センター」(7月)と「人吉市消費生活センター」(8月)の開設を支援しました。



取組みの成果(平成20年度)

【戦略1】 県民一人ひとりが人権を尊重され、健やかに生き甲斐を持って力を発揮できる社会

【健康増進・長寿づくりの推進】

- ・「健康日本21全国大会」の開催や情報発信により、健康づくりや生活習慣病対策についての気運を醸成しました。
- ・特定保健指導従事者の研修などにより、保健指導の質が向上しました。
- ・健康な食を提供する「健康づくり応援店」が202店舗(52店舗増)に増加しました。

【男女共同参画の推進】

- ・地域における団体や県民等と協働した啓発により、男女共同参画の意識が着実に浸透しました。
- ・パンフレット配布、講師派遣により学校での男女共同参画を進めるとともに、DV未然防止教育の充実(21校、7,974人が受講)を図りました。
- ・事業所へのアドバイザー派遣等により、仕事と家庭の両立に向けた環境整備が進展しました。
- ・DV被害者へのカウンセリングや民間シェルターへの補助を実施しました。



親子で楽しく健康エクササイズ

【戦略2】 住み慣れた地域で安心して暮らすことができる社会

【地域医療体制の整備】

- ・ドクターバンクや院内保育所の開設、熊本大学への地域医療に関する寄附講座の設置、奨学金制度の創設等、医師確保のための体制を整備しました。
- ・がん、脳卒中、急性心筋梗塞等への対策、救急医療、周産期医療体制等の整備について、医療機関等と連携して推進しました。

【要介護高齢者への支援】

- ・認知症疾患医療センターについて、「熊本モデル」(基幹型1カ所、地域拠点型7カ所の二層構造)を企画し、国に提案しました。また、認知症サポーター数が23,384人と大きく増加しました。

【障がい者の地域生活支援】

- ・障がい者の地域生活を支えるサービスの提供体制が充実し、利用量が目標を上回りました。
- ・福祉施設製品の展示・商談会、経営講座の開催、モデル施設の選定・支援等を行いました。



地域の縁がわ

【戦略3】 安全安心で住みやすい社会

【消費生活行政の推進】

- ・全市町村での活性化プログラム策定により、住民に身近な市町村における消費生活行政の取組みが充実しました。

【犯罪抑止対策】

- ・警察官による街頭活動を強化するとともに、相談員の配置により交番機能を充実させました。
- ・知事による「振り込め詐欺撲滅宣言」を行い、金融機関と連携した被害防止対策を実施しました。
- ・県民を振り込め詐欺の被害から守るため、平成21年3月に「県民を振り込め詐欺から守る条例」を制定しました。



振り込め詐欺被害防止キャンペーン

【防災対策の推進】

- ・地域防災リーダーの養成や講師派遣等により自主防災組織の結成を促進しました。
- ・河川改修や土砂災害防止施設の整備や、ハザードマップの作成支援、土砂災害警戒区域等の指定により警戒避難体制の整備が進展しました。

品格あるくまもと

指標の動向

区分	指標	戦略策定時	H20年度のデータ及びその傾向	目標値 (H23年度)
戦略1	世界文化遺産登録に関連する資産の国指定(選定)件数	4カ所 (H20)	4カ所 (H21) →	10カ所
	文化施設の利用者数	82.3万人/年 (H19)	108.7万人/年 (H20) ↗	86.2万人/年
	火の国未来づくりネットワーク会員の新規加入数	9団体/年 (H19)	18団体/年 (H20) ↗	40団体/4年間
	ロアッソ熊本ホームゲーム1試合平均入場者数	5,279人 (H20)	6,006人 (H21) ↗	J2の1試合平均入場者数 (H23)を上回る
	スポーツ施設の利用者数(観客数を含まない)	125万人/年 (H19)	122万人/年 (H20) ↘	129万人/年
戦略2	温室効果ガス総排出量削減率	+10.2% (H18)	+13.7% (H19)速報値 … (注)	-6%
	地球温暖化防止行動を実践する県民の割合	80.1% (H19)	76.6% (H21) ↘	90%
	一人一日当たりの上水道使用量	341ℓ/人・日 (H18)	335ℓ/人・日 (H19) … (注)	335ℓ/人・日
	地下水の採取量の削減	26,739万㎡ (H18)	26,223万㎡ (H19) … (注)	26,071万㎡
	公共用水域における環境基準(BOD・COD)の達成状況	河川93.8% 湖沼100% 海域73.7% (H19)	河川89.4% 湖沼100% 海域89.5% (H20)	河川100% 湖沼100% 海域100%
戦略3	観光宿泊客数	691万人/年 (H19)	680万人/年 (H20) ↘	750万人/年
	KANSAI地域(関西・中国地方)における認知度 (関心の度合い)	13% (H18)	21% (H20) ↗	26%
	幹線道路の整備進捗率(供用率)	35% (H20.3)	43% (H21.4) ↗	44%

(注)「…」はH19年度以前のデータが最新のため矢印の記載無し

トピックス(平成21年度)

鞠智城イメージキャラクター決定(10月)

鞠智城イメージキャラクターを「ころう君」に決定し、表彰式を行いました。今後とも鞠智城の国営公園化に向けた取組みを推進していきます。



ころう君



太陽光発電システムの導入を促進(7月)



本県では、太陽光発電の先進県を目指して、太陽光発電システムを導入する個人(住宅向け)及び事業所に対する助成制度を創設しました。

助成によるパネル総出力は、個人分(住宅向け)約12メガワット、事業所分は約2.4メガワットです(申請ベース)。

九州新幹線が全線連結(10月)

平成23年3月の九州新幹線全線開業に向けた最後の高架橋工事が終了し、博多～新八代間が全てつながりました。

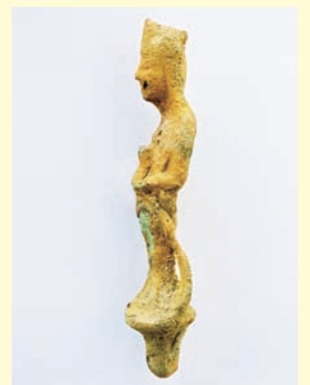


取組みの成果(平成20年度)

【戦略1】誇りに満ちた魅力あふれる地域社会の創造

【くまもと文化の創造と継承、発信】

- ・国内初となる鞠智城の「百済菩薩立像」の出土(平成20年10月)を受け、現地説明会や特別公開を実施しました。
- ・鞠智城の国営公園化・特別史跡の指定に向け、シンポジウムや国等への要望活動を実施するとともに大規模公園の基本構想案を検討しました。
- ・阿蘇(阿蘇一火山とその文化的景観)について、県と地元市町村による連絡会議を設置しました。
- ・近代化産業遺産群(旧万田坑、三角西港)は専門家委員会で学術調査を実施しました。
- ・天草地域のキリスト教会関連遺産は、文化財の国指定に向け専門家委員会を開催しました。
- ・県立美術館で永青文庫常設展示室をオープンし、入館者数が大幅に増加しました。
- ・県立劇場は指定管理者によるサービス向上等に努め、県芸術文化祭では能楽公演「熊本能 一清正」を制作・公演しました。



百済菩薩立像(鞠智城)

【戦略2】低炭素、循環及び共生を基調とした持続可能な社会

【県民総ぐるみによる地球温暖化対策とエコ活動の推進】

- ・「ノーマイカー通勤・エコドライブ」「冷暖房温度の緩和」「マイバッグ利用」等の県内統一行動を展開しました。
- ・「動く環境教室」や「こどもエコセミナー」等により環境教育・学習を実施しました。
- ・間伐等による森林整備の推進や、「企業・法人等との協働の森づくり」を推進しました。
- ・住宅用及び事業所向けの太陽光発電システムの導入に伴う助成制度を21年度に創設し、家庭・事業所での省エネを促進しました。



ノーマイカー通勤デーパレード

【健全な水循環と水環境の保全】

- ・地下水を保全し将来に引き継ぐ指針「熊本地域地下水総合保全管理計画」、「行動計画」を策定しました。
- ・平成の名水百選に4カ所選定(水前寺江津湖湧水群、金峰山湧水群、六嘉湧水群・浮島、南阿蘇村湧水群)され、昭和の名水百選(菊池水源、白川水源、轟水源、池山水源)と合わせ全国最多の8カ所となりました。

【戦略3】九州新幹線開業効果の最大化による県全体の発展

【熊本駅周辺の整備】

- ・熊本市、JR九州、経済界等と連携して駅周辺のまちづくりを推進しました。
- ・新幹線等による高架橋工事に支障となる陸橋の撤去を行い、代替道路等への切替を実施しました。

【新幹線元年戦略の推進】

- ・21年度には、新幹線元年事業(開業記念事業)の基本計画を策定するとともに、映画「おくりびと」の脚本家 小山薫堂氏を総合アドバイザーとして起用しました。
- ・KANSAI戦略では、関西・中国地域での知事トップセールスや様々なメディアでの広報展開等により、県の魅力をアピールしました。
- ・新幹線各駅等からのバスなどへの乗り継ぎをスムーズにするための公共交通総合案内システムの開発を21年度からスタートしました。



芦北IC(南九州西回り自動車道)

【幹線道路ネットワークの整備】

- ・各幹線道路について着実に事業の推進を図り、平成21年4月には、南九州西回り自動車道の田浦IC～芦北IC間が開通しました。

人が輝くくまもと

指標の動向

区分	指標	戦略策定時	H20年度のデータ及びその傾向		目標値 (H23年度)
戦略1	「肥後っ子の日」を知っている県民の割合	—	7.1% (H21)	↑	50%
	くまもと子育て応援の店・企業登録数	1,120件 (H19)	1,681件 (H20)	↑	2,400件
戦略2	全国学力・学習状況調査における平均正答率	8項目中6項目が全国平均を上回った(H20)	8項目中7項目が全国平均を上回った(H21)	↑	全項目で全国平均を上回る
	大学等進学率	41.7% (H19)	42.2% (H20速報値)	↑	47%
	不登校児童生徒の割合	1.09% (H19)	1.05% (H20速報値)	↑	1%未満
戦略3	児童生徒の体力運動能力調査の県平均値	偏差値50.42 (H19)	偏差値50.69 (H20)	↑	H20年度を上回る数値
	インターンシップに参加した県立高等学校の生徒のうち、インターンシップが進路について考えるきっかけとなったと回答した割合	89.1% (H19)	87.3% (H20)	↓	93%
	県内就職を希望する生徒の県内就職決定率	95.6% (H19)	92.9% (H20)	↓	97%
	ジョブカフェ利用者における就職決定数	552人/年 (H19)	643人/年 (H20)	↑	600人/年

トピックス(平成21年度)

県内高校生の東京大学への交流研修(8月)

県内の高校生を対象に、東京大学での講義、最先端の理工系研究施設の見学等を実施しました。

また、県立球磨工業高校の生徒が県産材で制作したテーブルや椅子などを寄贈し、東大内に設置された「熊本テラス」で利用されています。



がんばる高校生の表彰(10月)



本県の未来を担う高校生のがんばりを讃え、将来の夢の実現を応援することを目的に、学業、スポーツ、文化活動等において、他の模範となる高校生を表彰しました。

熊本私学夢教育事業の推進(4月～)

熊本の私立学校に通う生徒が自らの将来に夢を描き、育み、そしてその夢を実現することを応援するため、各界の著名人等による特別授業や教員の資質向上のための研修事業など、一連の事業を実施しています。



取組みの成果(平成20年度)

【戦略1】子どもの笑顔があふれる社会

【地域の子育て力の向上】

- ・ イベントや絵画・作文等のコンクール等の「子育てポジティブキャンペーン」を展開しました。
- ・ くまもと子育て応援の店・企業登録数が年間目標値(320件)を大きく上回り、571件増加しました。

【子育てと仕事の両立の支援】

- ・ 「放課後児童クラブ」の整備(7件)・支援(216クラブ)を実施し、放課後児童の安心・安全な場所を確保しました。
- ・ 保育所等における一時保育(165箇所)や病児・病後児保育(病児・病後児保育:11箇所)等の保育サービスを拡充しました。

【子育ての負担感の軽減】

- ・ 第3子以降3歳未満児の保育料を無料化する市町村を支援しました。(39市町村)



放課後児童クラブ

【戦略2】子どもたちの「夢への架け橋」となる教育

【確かな学力の向上】

- ・ 知事自ら夢を持つ大切さを伝える出前ゼミを小・中学校及び高等学校等において7回実施しました。
- ・ 地域からのニーズが強い進学などに重点的に取り組む地域進学重点校を指定・育成しました。
- ・ 小中学校サポーター、特別支援学校サポーターを配置し、学習支援を実施しました。

【豊かな心をはぐくむ教育の充実】

- ・ 教育事務所等にスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等を配置して、楽しく登校できる学校づくりを推進しました。
- ・ 家庭教育の重要性の啓発等を行うテレビ放送「子育てどきどき」の放送(平均視聴率14.4%)や「くまもと家庭教育10か条」の普及、啓発を行いました。
- ・ すべての学校に人権教育主任を置き、各学校の推進体制を強化しました。



出前ゼミの様子

【戦略3】働くことを通して自己実現ができる社会

【若年者の就労支援】

- ・ 遠隔地域で就労支援情報を提供する「移動ジョブカフェ」を拡充しました。(H19:1カ所→H20:3カ所)
- ・ 「若者サポートステーション」利用者にボランティア体験・就労体験等の場を提供しました。
- ・ 4か月の職業訓練(1か月の企業実習を含む)を実施し、受講者119人のうち87人が就職しました。

【生徒の勤労観・職業観の育成】

- ・ 職場見学や職場体験などの協力事業所を「くまもとキャリア教育応援団」として新たに476件登録しました。
- ・ 全県立高校(61校)で就業体験と企業関係者の講話を実施しました。モデル校(6校)において、デュアルシステム(学校の講義と企業の実習を組み合わせた人材育成システム)を導入しました。



インターンシップの様子

「2009年県民アンケート」結果

県政に対する県民の皆様の御意見や御要望等を把握するため、毎年アンケートを実施しています。調査結果は、県の政策評価や施策の立案等の参考としています。

- 1 調査時期 平成21年4月24日～5月11日(18日間)
- 2 調査対象者等 県内在住の満20歳以上の男女3,000名(無作為抽出、郵送法)
- 3 回収結果 有効回答者数1,438名(回収率47.9%)
- 4 調査項目 (1)くまもとの夢4カ年戦略(4分野12戦略)に関する調査
 - ・満足度について
 - ・もっと力を入れてほしい戦略について
 (2)個別事項に関する調査

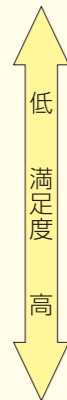
●詳しくはホームページをご覧ください。 [熊本県 県民アンケート](#) [検索](#)

1 くまもとの夢4カ年戦略(4分野12戦略)に関する調査

(1)満足度について(12戦略ごとに満足度を質問し、5段階で回答)

●戦略の満足度

順位	戦略名
12位	就労
11位	商工業
10位	医療・福祉
9位	教育
8位	環境
7位	農林水産業
6位	新幹線・基盤
5位	子育て
4位	健康・社会参画
3位	観光
2位	安全安心
1位	地域づくり



●年代別

	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
12位	就労	就労	就労	商工業	就労	就労
11位	医療・福祉	商工業	商工業	就労	商工業	環境
10位	教育	新幹線・基盤	医療・福祉	医療・福祉	農林水産業	商工業

- ・満足度が低い戦略は、「就労」、「商工業」、「医療・福祉」です。
- ・「就労」は、ほとんどの年代で、最も満足度が低くなっています。
- ・「教育」は20歳代で満足度が低く、「環境」は70歳以上で満足度が低くなっています。

(2)もっと力を入れてほしい戦略について(12の戦略のうち3つ以内で回答)

●力を入れてほしい戦略

順位	戦略名
1位	医療・福祉
2位	就労
3位	農林水産業
4位	教育
5位	安全安心
6位	商工業
7位	子育て
8位	観光
9位	健康・社会参画
10位	地域づくり
11位	環境
12位	新幹線・基盤

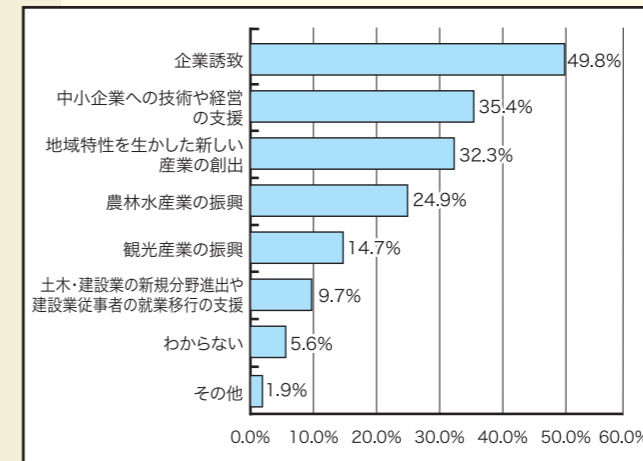
●年代別

	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
1位	就労	医療・福祉	医療・福祉	医療・福祉	医療・福祉	医療・福祉
2位	医療・福祉	子育て	就労	就労	農林水産業	農林水産業
3位	子育て	就労	教育	農林水産業	就労	安全安心

- ・力を入れてほしい戦略としては、「医療・福祉」がほとんどの年代で最も要望が多くなっています。
- ・「就労」は20歳代で最も多く、40歳代、50歳代でも多くなっています。
- ・20歳代、30歳代では「子育て」に対する要望が多くなっています。

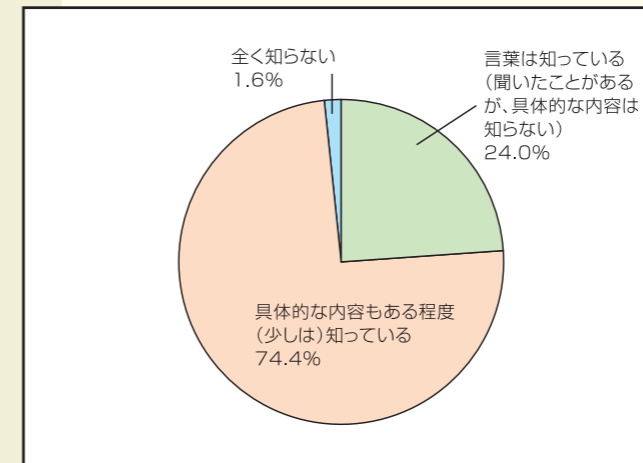
2 個別事項に関する調査

(1)雇用対策について(問:雇用機会を増やすために何が重要だと思いますか[複数回答])



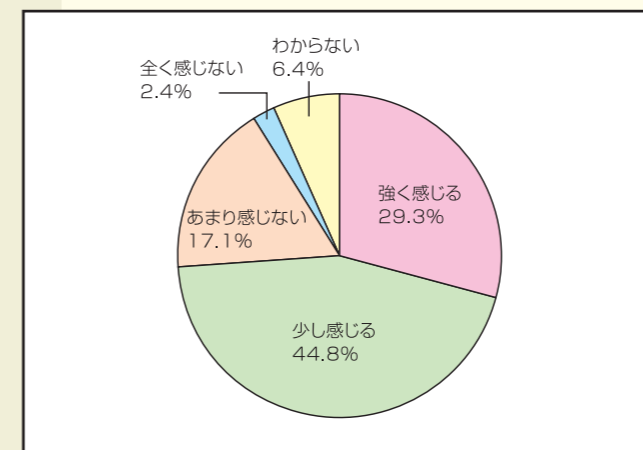
雇用機会を増やすために必要なものとして、「企業誘致」、「中小企業への技術や経営の支援」、「地域特性を生かした新しい産業の創出」と回答した人の割合が高くなっています。

(2)認知症について(問:認知症についてどの程度知っていますか)



認知症について、「具体的な内容もある程度(少し)は知っている」と回答した人の割合は、全体の約4分の3です。

(3)暮らしについて(問:県では、誰もが「生まれてよかった、住んでよかった、これからもずっと住み続けたい」と思える熊本の実現を目指しています。あなたは今、そのように感じることができますか)



「生まれてよかった、住んでよかった、これからもずっと住み続けたい」と感じるかについて、「強く感じる」、「少し感じる」と回答した人の割合の合計は全体の約4分の3です。